

## 大阪市夢洲地区下水道基本構想策定に関する調査研究

全体期間	1999.4～2001.3	本文 P.63～P.68
------	---------------	--------------

### （目 的）

近年、地域レベル、地球規模レベルの環境問題がクローズアップされてきている。

大阪湾の臨海部北港地区に位置する人工島の夢洲では、環境共生型のまちづくりを基本的なコンセプトとした新たなまちづくり計画が進められている。夢洲の下水道計画においても、計画段階からまちづくりと一体となって、新たな「まち」をデザインする貴重な機会が得られ、下水道事業には、まちづくりに多面的に貢献していくことが求められている。

本調査研究は、大阪市と(財)下水道新技術推進機構との共同研究のもと、夢洲のまちづくりから下水道に期待される役割と下水道を取り巻く情勢の変化を見通しながら、夢洲下水道の基本理念（コンセプト）と施策展開の方向性を明らかにするため、委員会を設置し、提言を作成するものである。

### （結 果）

下水道の計画諸元及び提言書の概要を以下に示す。

#### （1）下水道の計画諸元（平成13年3月現在）

計画目標年次：2025年

計画面積：1,258.0ha（夢洲380.0ha、咲洲653.0ha、舞洲225.0ha）

計画水量：100,000m<sup>3</sup>/日（日最大）（夢洲－43,000m<sup>3</sup>/日）

#### （2）夢洲のまちづくりから下水道に期待される役割

夢洲の下水道はまちづくり計画において、以下の点に貢献するものとする。

①環境にやさしいまちづくり、②環境を軸とした都市の骨格形成、③災害に強いまちづくり、④新しいライフスタイルの実現

#### （3）夢洲下水道の基本的な方向性と基本理念

都市の自然と共生し、資源の循環をめざすことにより、「環境共生」という下水道にとっての新たな取り組みを積極的に行う。よって、夢洲の下水道の基本理念を、「『環境共生型高機能下水道』～水・緑と共生し、資源の循環をめざす」とする。

また、この基本理念を具体化する施策展開に向けた5つの理念を以下に掲げる。

- ①水循環－健全な水循環の形成と、人に潤いと安らぎをもたらす良好な水環境の創造
- ②ゼロエミッション－持続可能な循環型社会の形成と、人の健康・生態系の維持への寄与
- ③都市の自然の創造－水と緑と生態系が連続する自然環境を軸とした都市の骨格形成に貢献
- ④安全・安心のまち－ライフラインの確保と防災性の向上に貢献
- ⑤新しいライフスタイル－住民主体の環境活動への支援

#### （4）施策の実現に向けて

施策の実現に向けて、以下の項目に視点を置く。

- ①他部局との連携、②都市の構造・質の環境共生型への転換、③新技術の開発、④エコセンターとしての処理場の役割、⑤下水道の環境投資と便益、⑥洲全体の総合管理

### （今後の課題）

今後は、理念を具体化するための施設の計画や設計を行っていく必要があるが、理念の実現のためには、下水道担当部局と多くの部局との協力体制を築いていく必要がある。

共同研究者：大阪市下水道局

財団法人 下水道新技術推進機構

研究担当者：江藤 隆，栗林 栄，新海 幸男，石渡 英樹

キーワード	水循環，ゼロエミッション，環境共生，資源循環型
-------	-------------------------